

2022



かんべ小児科 病児保育だより



梅雨明け間近と言われており、時折顔を見せるお日様が夏の訪れを感じさせます。気候の変化や室内外の温度差で体温調節が難しい子どもたちにとって、体調を崩しやすくなる季節です。また、ヘルパンギーナ、手足口病などの夏風邪が流行する時期でもあります。本格的な夏に備えて十分な栄養・睡眠をしっかりとって免疫力を高め、元気に過ごしましょう。

手足口病ってどんな病気？

手足口病とは、主に乳幼児がかかる夏風邪の一つで、コクサッキーウイルスなどが原因で引き起こす感染症です。

〈主な症状〉

名前の通り手のひらや足のうら、口の中などに米粒くらいの水疱状の発疹が現れ、発熱や時には嘔吐・下痢を伴うこともあります。また、口内炎の影響でよだれが増えたり、食欲が低下したりすることもあります。

〈潜伏期間・感染経路〉

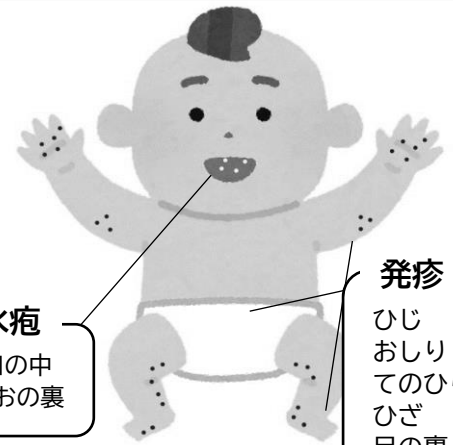
潜伏期間は2～5日で、感染経路は、咳や鼻水、くしゃみ等による飛沫感染や、よだれや便等による接触感染です。保育施設や家庭内で集団感染することもあるため、感染予防として手洗い、うがい、マスクを着用し、タオルや玩具、スプーンなどの共有を避けるようにしましょう。また、治ってからも2～4週間の間は便からウイルスが排泄されるので、特に排泄処理後はしっかり手洗いをしましょう。

《食べやすいメニュー》

- 口あたりの良いもの(プリンやゼリー、豆腐など)
- ◎うどんやシチューなども！
- ×避けたほうが良いもの
- 熱いもの、塩味・酸味の強いもの、固いもの
- ※ 水分補給をしっかり行う！



主な水疱・発疹の場所



水疱
口の中
ほおの裏

発疹
ひじ
おしり
てのひら
ひざ
足の裏

☆ 登園のめやす ☆

発熱や水疱状の発疹など症状が落ち着き、食事がとれるようになったら！
※園によっては登園許可証が必要な場合もあるため、園に確認を！

主に乳幼児が感染することが多いですが、大人でも感染することがあるので注意が必要です。



6月に利用された方の病気

- ・嘔吐下痢症
- ・突発性発疹症
- ・上気道炎
- ・気管支喘息
- ・気管支炎



かんべ小児科 病児保育室

お気軽に
お問い合わせください♪



TEL:0956475711

